

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

★最初のISS構成要素打上げから2034日経過しました

★第9次長期滞在クルーのISS滞在は56日経過しました

★ISS動向

第9次長期滞在クルーのゲナディ・パダルカ、マイケル・フィンク両宇宙飛行士は、6月25日の船外活動の準備を引き続き行っています。

この変更(6月15日→6月25日)は、クルーの作業時間がより適した時間になることと、ロシア地上局との通信範囲の制約を避けることから決められました。また、計画立案のための時間的余裕も生まれます。

今回の船外活動は、ロシア製宇宙服を使用することからロシア技術支援が必要な為、ISSがロシアの地上局上空を通過する、午前7時50分頃から開始する予定です。この模様はNASA TVで放映されます。作業時間は6時間以内の予定です。

両宇宙飛行士は、船外活動で使う電動工具のひとつ、ピストル・グリップ・ツール(Pistol Grip Tool)のバッテリの充電と、船外活動で使用する工具の操作方法を把握し、またバッテリ、フィルタ、ヘルメットライトの交換の他、ロシア製宇宙服の定的な部品交換も実施しました。さらに、靴下やグローブ、冷却下着といった個人的な衣類の取り出し、宇宙服のサイズを調整し、宇宙服の気液分離システム内に余分なガスが混入していないか確かめました。

また両宇宙飛行士は、ISSに搭載されているロシア製の自転車エルゴメータを使って心肺系の評価を行いました。このチェックは、標準的な船外活動準備のうちのひとつです。



交換予定の予備のRPCMを持つフィンク宇宙飛行士



自転車エルゴメータを漕ぐパダルカ宇宙飛行士

“JAXAの宇宙飛行士”

★MS基礎訓練開始

古川、星出、山崎(旧姓角野)宇宙飛行士は、ミッションスペシャリスト(搭乗運用技術者、MS)候補者訓練を開始するため米国に出発しました。今後約1年半にわたってNASAで訓練を受けます。主な訓練項目は次の通りです。

(1) スペースシャトルシステム訓練

スペースシャトルのシステム運用、緊急対処、ロボットアーム操作訓練など

(2) T-38ジェット練習機操縦訓練

ストレス下におけるマルチタスク技量を習得するための訓練

(3) ロシア語訓練

ISSはアメリカ及びロシアの要素が大部分を占めるため、英語以外にもロシア語を習得することにより、軌道上の作業を円滑に進めるために実施する訓練



左から古川聰、山崎直子、星出彰彦宇宙飛行士【ジョンソン宇宙センター】

“トピック”

★金星の太陽面通過結果

6月8日は、日本で130年ぶり、世界的にも122年ぶりという金星の太陽面通過がありました。残念ながら日本では天候に恵まれなかった地域が多かったのですが、曇り空の下、頑張って観測した方も大勢いたと思います。

ここにNASAの人工衛星「TRACE」*から撮影された画像をご紹介します。

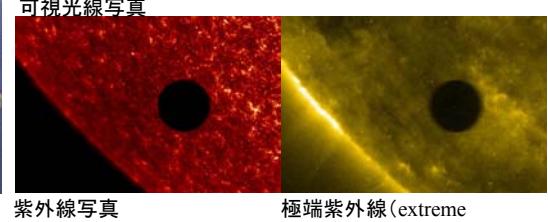
残念ながら今回見逃してしまった方は、次回8年後の2012年6月6日に期待しましょう。日本で観測できます。



TRACEイラスト



可視光線写真



紫外線写真

極端紫外線(extreme ultraviolet)写真

* TRACE(Transition Region and Coronal Explorer)は、1998年4月にペガサスロケットにより打ち上げられたNASAの観測衛星です。

写真出典: http://www.nasa.gov/multimedia/imagegallery/image_feature_184.html

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

Wi-Fiクリーニュースマーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼう Wi-Fiクリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本Wi-Fiクリーニュースから転載した旨を記述ください。